

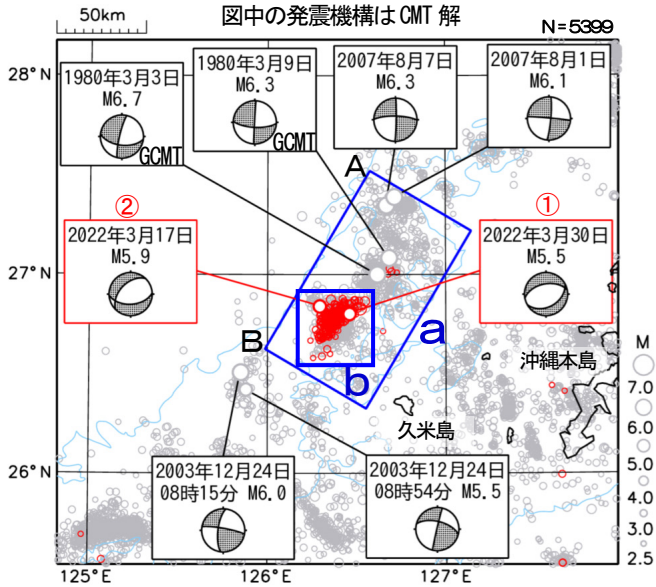
沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図

(1980年1月1日～2022年3月31日、
深さ0km～60km、 $M \geq 2.5$)

2022年3月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

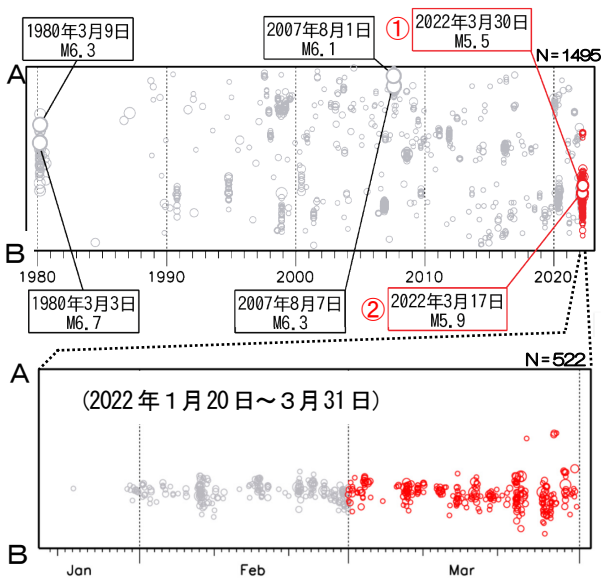


図中の青色の等値線は水深1500mを示す。

※1980年3月3日および3月9日の地震の発震機構はGlobal CMT

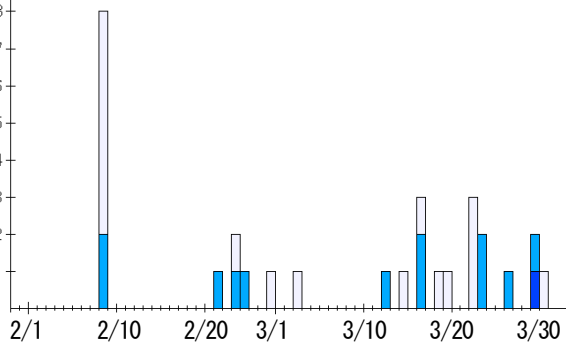
領域a内の時空間分布図 (A-B投影)

(1980年1月1日～2022年3月31日)



震度1以上の日別最大震度別地震回数図

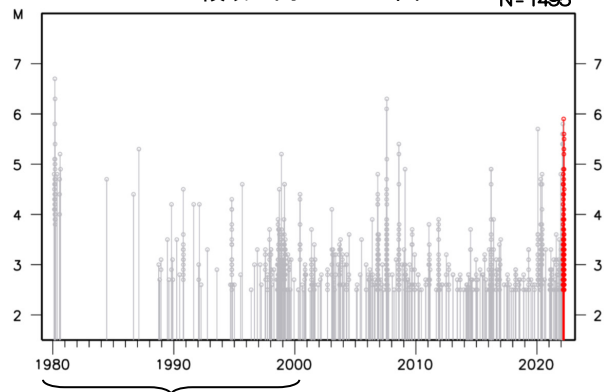
(2022年1月30日～2022年3月31日)



沖縄本島北西沖では、2022年1月30日から地震活動が活発になり、3月中もその傾向は継続している。この地震活動により、3月に震度1以上を観測する地震が17回 (震度3：1回、震度2：7回、震度1：9回) 発生した。このうち、最大震度を観測した地震は、30日02時36分のM5.5の地震 (最大震度3、図中①) である。また、17日20時33分には、この地震活動の全期間を通じて最大規模となるM5.9の地震 (最大震度2、図中②) が発生した。これらの地震の発震機構 (CMT解) は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

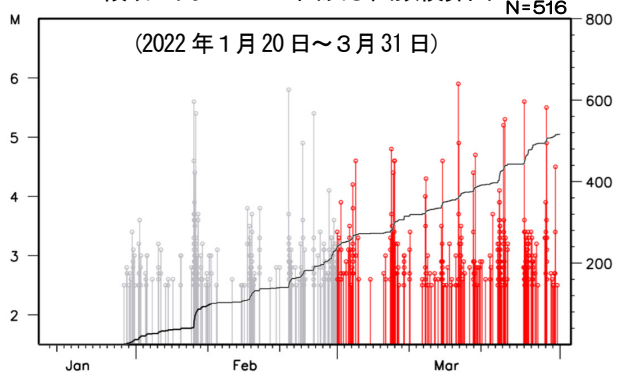
1980年1月以降の活動をみると、今回の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上を最大規模とした地震活動が時々みられる。1980年2月から3月にかけて活発化した際には、同年3月3日にM6.7の地震 (最大震度3) が発生した。

領域a内のM-T図



(この期間の検知能力は $M > 2.5$)

領域b内のM-T図及び回数積算図



震度1以上の最大震度別地震回数表

(2022年1月30日～2022年3月31日)

月別	最大震度別回数			震度1以上を	
	震度1	震度2	震度3	回数	累計
1月30、31日	0	0	0	0	0
2月1日～28日	8	5	0	13	13
3月1日～31日	9	7	1	17	30
総計	17	12	1		30